



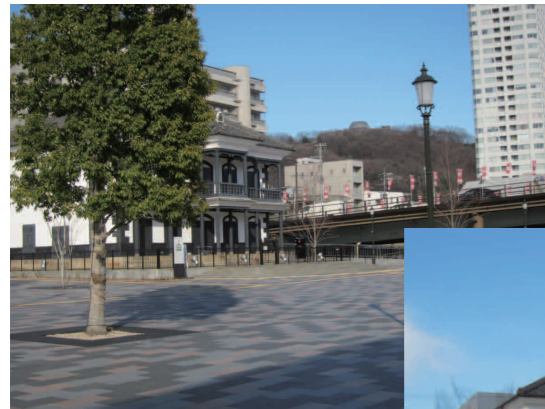
④NHK甲府放送会館

平成 24 年完成。情報発信、文化の創造。温暖化対策機能を備えている。



⑤甲府北口広場

平成 22 年整備。



⑥甲府北口多目的広場
(よっちゃんばれ広場)

平成 22 年整備。憩いの場と多目的な交流可能なイベント広場として活用。屋外トイレも備えている。30 分無料の駐車場も隣接整備されている。



⑦藤村記念館

平成 22 年完成。武田神社から国指定の重要文化財である旧陸沢学校校舎を移築されており、すでに見学も可能となっている。



⑧新山梨県立図書館

駐車場もなく、館内スペースも手狭になったため移転。平成 24 年 11 月開館予定。



⑨甲府市歴史公園

そもそも甲府城は、武田氏滅亡以降に、豊臣氏そして徳川氏の治世の頃に築城され、1873 年に廃城となった。その後、建物の廃棄が進められてその跡地の多くは、官業施設となった。戦後は、価値有る史跡として発掘事業が行われた。平成 19 年完成。山梨県甲府城の追手門、山手渡櫓門を復元し、歴史的景観を伝え、合わせて、将来的に集客性のあるイベント使用が目的の広場との回遊性も高めようとしている。

⑩甲州夢小路

平成 24 年着工予定。歴史公園等と連携を図り。民間事業者による歴史観光型集客施設となる予定。

ふるさと甲府情報

歴史的な視点を交えながら、新たな甲府の玄関口としての機能を備えるべく変容を遂げつつある甲府駅北口の姿の今をお伝えしたい。



甲府駅北口整備のイメージ

- ①甲府地方合同庁舎 (仮称)
- ②甲府中央消防署
- ③市営第一自転車駐車場
- ④NHK 新甲府放送会館
- ⑤甲府駅北口広場
- ⑥甲府駅北口多目的広場
- ⑦甲府市藤村記念館
- ⑧新県立図書館
- ⑨甲府市歴史公園
- ⑩甲州夢小路

※ 甲府地方合同庁舎 (仮称)、NHK 新甲府放送会館、新県立図書館については、甲府市が仮に想定した建物です。



取り壊し前の甲府駅北口(昭和59年)



現在の甲府駅北口



①甲府地方合同庁舎の完成

平成 24 年 1 月完成。9 の省庁出先機関が機能連携を図るためまとまって入る予定。



②甲府中央消防署

平成 19 年完成し活動している。中心地の防災強化を目的としている。



③市営第一自転車駐車場

平成 19 年完成。駅機能の利便性と省エネ温暖化対策として。

今回の整備事業は、多くの大都市における再開発事業と違い、昔(いにしえ)の風情を蘇らせながら、その特質を活かしつつ、新たな都市としての利便性や発展性を求め融合を図ろうとする(智慧)整備事業となっている。観光客、ビジター等の集客以上に、ふるさと甲府を愛する本県出身者の動向もこの事業の成否の大きな要素と言えるのかもしれない。

なお、他県からの来訪者を期待して以下のイベントが開催予定である。

- ① 平成24年甲府大好き祭りが10月20日に開催
- ② 「関東B-1グランプリ」通称「B級ご当地グルメよっちゃんばれ市in甲府」が平成24年 11月24日、25日に開催<http://yocchabareichi.com/>
- ③ 平成25年には、年間を通して、甲府市を含めた山梨県内各地において「全国国民文化祭」の開催が予定されている。

<http://www.city.kofu.yamanashi.jp/kokubun/kokubun/kaisai.html>
これらのイベントに足を運んでいただければ、甲府駅北口の変容をつぶさに見ることができる。これらのプロジェクトやイベントのいずれもの担い手の多くが同窓会会員諸氏であるということも最後に付け加えておきたい。